

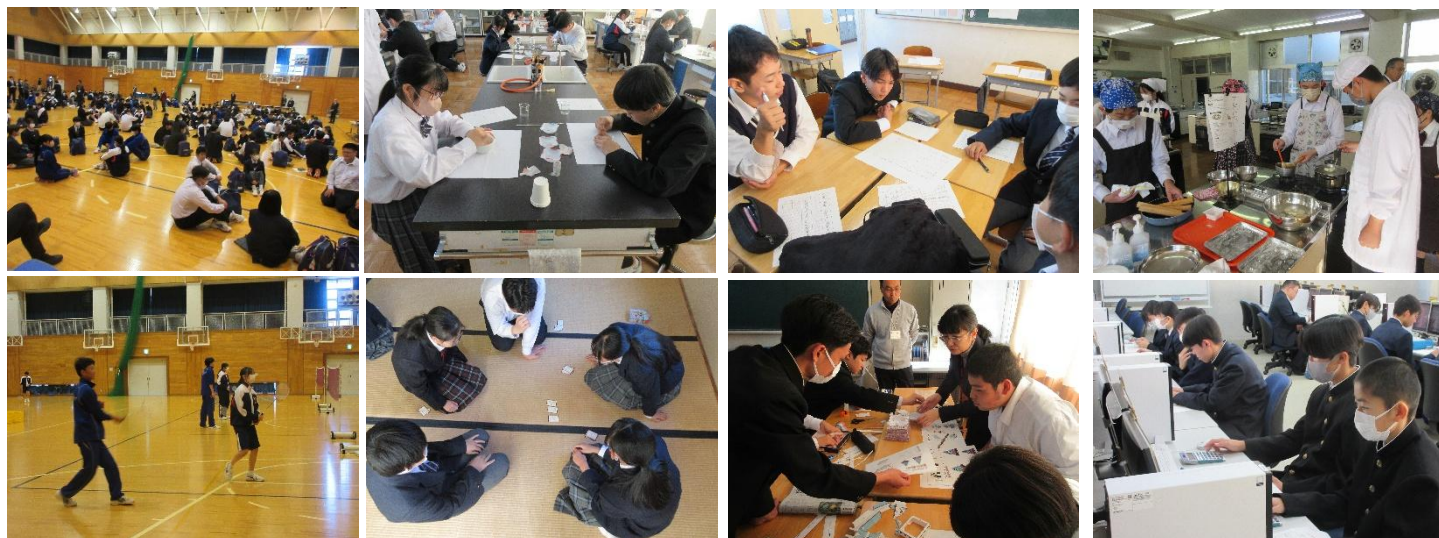
明峰中学校と小瀬高校は、連携型中高一貫校として新たな中高連携を模索し、推進することを通して、「地域の中で歩み、地域に貢献できる生徒」の育成に励んでいます。

ふれあいキャンパス 「多様な他者」とのふれあいを通して

11月7日（木）、連携型中高一貫教育生徒交流事業「ふれあいキャンパス」が開催されました。

ふれあいキャンパスは、連携校生徒（小瀬高・明峰中）の交流が最大の目的です。明峰中と小瀬高の生徒は、百人一首やペーパークラフト等の11講座に分かれ、様々な活動に取り組みながら互いに交流を深めました。普段の学校生活ではなかなか交流することがない「多様な他者」とコミュニケーションを取ることで、自分の世界を広げることができたのではないのでしょうか。

参加した生徒からは、「話しかけると笑顔で話してくれる中学生が多くて楽しかった」「バドミントンの講座でペアを組んだ中学生とプレーの中でコミュニケーションが生まれた。短時間の中でも自分の成長を感じることができた」等の感想が寄せられました。



中高一貫教育生徒交流事業

さらなる高みへチャレンジ

今年度も中高一貫教育生徒交流事業として、授業支援やスポット授業、部活動交流（合同練習）を実施しています。授業支援やスポット授業では、国語科や数学科、英語科や保健体育科で実施することができました。また、部活動交流（合同練習）では、野球部やバレーボール部、卓球部やソフトテニス部で実施することができました。どちらの事業も異学年生徒が交流を図り、体験を通して学ぶ機会となっています。まさしく先輩・後輩の“**継承と開拓**”小瀬高と明峰中ならではの“**ここにしかない ここだからある**”活動です。さらなる高みへチャレンジです。



継承と開拓～ここにしかない ここだからある～